

**製品名: STAT5a (1Y19) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe18361**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:100-1:500,FC 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	91kDa

**抗原情報**

遺伝子名	STAT5A
別名	MGF; MPF; Mammary gland factor; STA5A; STAT5; STAT5A
遺伝子 ID	6776.0
SwissProt ID	P42229
免疫原	ヒト STAT5a の合成ペプチド

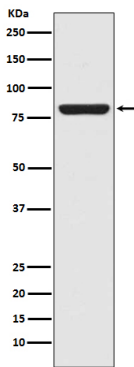
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、転写因子 STAT ファミリーのメンバーです。サイトカインおよび成長因子に反応して、STAT ファミリーのメンバーは受容体関連キナーゼによってリン酸化され、その後ホモ二量体またはヘテロ二量体を形成して細胞核に移行し、そこで転写活性化因子として作用します。シグナル伝達と転写活性化という二重の機能を果たします。サイトカイン KITLG/SCF およびその他の成長因子に対する細胞応答を媒介します。ERBB4 に対する細胞応答を媒介します。活性化された FGFR1、FGFR2、FGFR3、および FGFR4 に対する細胞応答を媒介する可能性があります。GAS エlementに結合し、PRL 誘導転写を活性化します。授乳期における乳タンパク質の発現を制御します。

## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



A431 細胞溶解物中の STAT5a のウエスタンブロット分析。